

# 田上町議会だより



▲ はるうらら 蜜蜂(梅林公園)

---

3月定例会	.....	P2
平成24年度予算	.....	P3
予算審査特別委員会	.....	P4~5
7.29水害調査特別委員会	.....	P6
臨時議会、全員協議会	.....	P7
一般質問	.....	P8~15
付託案件審査報告	.....	P16~17
所管事務調査報告、一部事務組合等の報告	.....	P18~19
議員活動あれこれ／編集後記	.....	P20

---

第93号

■平成24年4月27日 発行

# やさしさと豊かさで キラリと輝くまち田上

一般会計 当初予算 42億700万円(前年比3.7%減)



▲町長の施政方針を聴く

## 定例会の経過

予算議会とも言われる3月定例会は3月2日～22日の21日間にわたり開催されました。初日の2日は、5つの一部事務組合等の報告後、教育委員に須田朝子氏の任命が同意されました。

次に、平成24年度の予算議案が上程され、町長の施政方針演説が行われ、32議案が各常任委員会及び、今回の定例会で新たに設置された予算審査特別委員会に審査が付託されました。

7日に総務産経常任委員会で8日には社会文教常任委員会で付託議案の審査がおこなわれました。

12、13日には8議員が一般質問を行い、さまざまな角度から町政に対する真摯な質疑が展開されました。13日には本会議において、各常任委員

長の付託案件審査報告が行われ、討論、採決の結果すべて承認、可決されました。15日から7日間は、予算審査特別委員会において、一般会計および各特別会計の審査が行われ、町長に対する最終的な総括質疑では真剣な議論が交わされました。

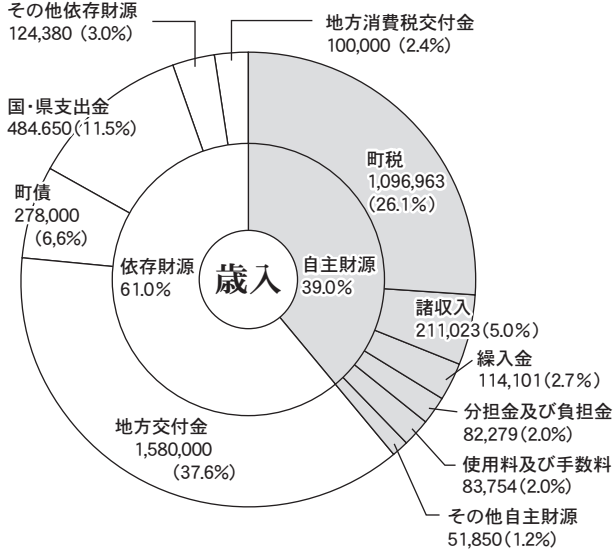
最終日の本会議において予算審査特別委員会に付託された議案の委員長報告が行われ討論・採決の結果、すべて原案可決されました。

また、7・29水害調査特別委員長の報告及び、追加議案として田上中学校体育館屋根改修等大規模改造工事の入札結果の説明がありました。入札額が5千万円を超えていることで、入札業者承認の議決が必要のために、追加され可決しました。

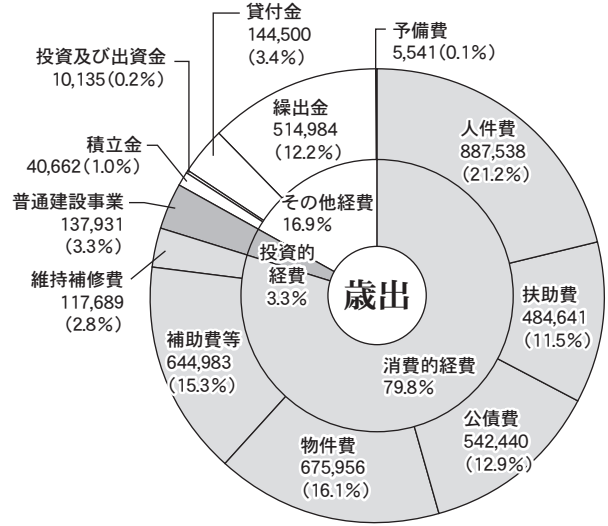
# 平成24年度各会計当初予算

## 一般会計 42億700万円

歳入予算財源構成比 (単位:千円)

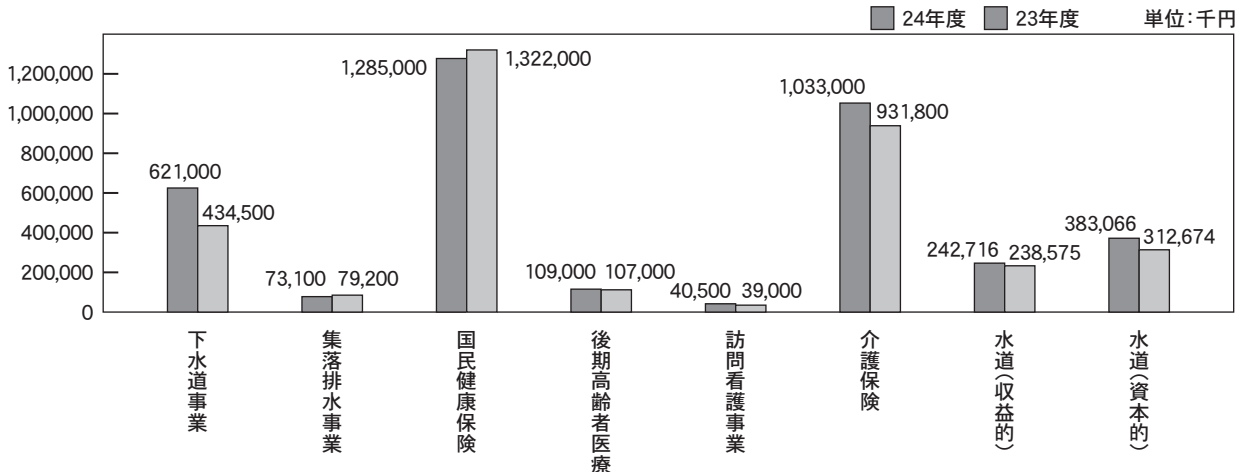


性質別歳出予算構成比 (単位:千円)

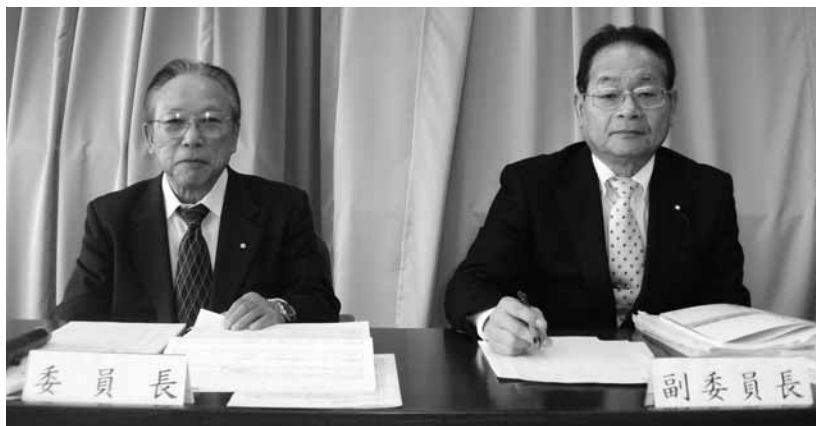


### 特別会計・企業会計

区分	24年度	23年度	増減	
下水道事業特別会計	6億2,100万円	4億3,450万円	1億8,650万円	
集落排水事業特別会計	7,310万円	7,920万円	△610万円	
国民健康保険特別会計	12億8,500万円	13億2,200万円	△3,700万円	
後期高齢者医療特別会計	1億900万円	1億700万円	200万円	
訪問看護事業特別会計	4,050万円	3,900万円	150万円	
介護保険特別会計	10億3,300万円	9億3,180万円	1億120万円	
水道事業会計	収益的支出	2億4,271万6,000円	2億3,857万5,000円	414万1,000円
	資本的支出	3億8,306万6,000円	3億1,267万4,000円	7,039万2,000円



# 予算審査特別委員会



▲関根委員長

▲川崎副委員長

当委員会に付託された議案は、条例の一部改正4件及び、平成24年度一般会計予算と特別会計など7件の計12案件でありました。

町の将来を見定め財政状況をふまえ、かつ町民の負担に応える予算とすることを念頭に審査を行いました。

一般会計における歳入では、町財政の特徴点と国の地方財政計画が町財政に及ぼす影響が明らかにされました。

1. 納税者数は、6千100人を見込み、今後大きな変動はないものと想定しています。

2. 町税は、税制改正によって前年度比79万1千円(0.7%)増となっておりますが、固定資産税は評価替に伴い3千82万4千円の減となっております。

その内訳は、土地が109万9千円、家屋2千42万5千円、企業の償却資産930万円の減です。

3. 入湯税は、入館者を湯田上温泉で9万8千100人、湯つ多里館で16万5千人と積算し46万5千円増の見込みです。

4. 湯つ多里館使用料は、入館者を約1万人減の17万9千20人と見込み年々減額傾向にあります。

5. 地方交付税は、前年度予算と同額が計上されますが、今後の見通しについて国は、平成23年8月の閣議決定された中期財政フレームで「平成26年度まで、同水準を確保する」としています。しかし、不交付団体の減少傾向から不確実性は拭えません。

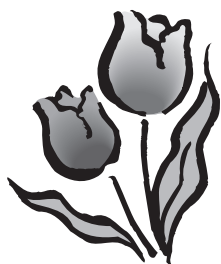
歳出では、24年度事業として都市計画基礎調査、観光振興事業補助(CM放送)、国土調査事業(地籍調査)、小川遊水池調査経費、湯つ多里館施設改修調査経費及び消防小型ポンプ更新経費など新規事業を中心に、次のような議論が行われました。

- (1) 老人福祉施設のあり方
- (2) 焼却場の展望を踏まえた震災ガレキ処理への貢献
- (3) 子供医療費助成の拡大
- (4) 緊急雇用対策の継続

- (5) 成増地区交流のあり方
- (6) 観光振興事業と登山口周辺開発
- (7) 農業振興事業と農業再生協議会
- (8) 燃料費の高騰に伴う経費節減対策
- (9) 指定管理者との連携・支援について 等

尚、委員会の最終日には総括質疑及び採決が行われ、全議案とも原案可決されました。

委員長 関根 一義





町長への総括質疑  
質疑件数 5件

**問** 予算編成方針には、観光振興事業補助があり、財産収入、寄付金、ふるさと納税等窓口予算でなく目標数値を定め、方針に沿った予算としては如何ですか。

**答** 継続事業の予算は実績を踏まえて予算化しています。又不確定要素のものは、窓口計上としていきたいと思いません。

**問** エコタウン田上推進協会のメンバーとして、どのようなエコの取組を考えているかお聞きします。

**答** 商工会と共にLEDの普及に努めていますし、庁舎内は、部分的な取替を考えています。



▲成増地区とのスポーツ交流会

**問** 成増地区交流事業の実施状況及び評価、今後の展望、町民への周知等どのように考えているかお聞きします。

**答** 野球場、YOU・遊ランド等で交流を計り、楽しかったという作文を頂いています。今後も物産、農業まつりを通してPRしていき、交流会には多くの方々から参加して頂くよう考えています。



▲老人福祉センター

**問** 老人福祉センター、心起園は近年多額の予算を投じて大規模改修を行ってきました。受益者負担の原則に基づき、年会費の改正も検討すべきと考えますが如何ですか。

**答** 老人福祉に寄与でき、健康増進を目的に作られた施設であるため、現状維持と考えています。又心起園については老朽化しているので今後検討いたします。



▲総括質疑の様子

**問** 総合計画では、合併浄化槽の設置を推進し、中央公共下水道計画が存在するなか、今後の下水道計画の方向と雨水対策との関連はどのように考えていますか。

**答** 財政事情が思わしくないため、下水道計画を現在中止しています。当面は、合併浄化槽の推進を行っていき、雨水対策は今後も努力して行きます。

# 7.29水害調査特別委員会

平成23年7月29日に発生した新潟・福島豪雨は、断続的に大雨洪水警報が発令され、降水量は7月30日には総雨量273ミリに達し甚大な被害をもたらしました。

当町も住宅、農地、道路、河川等に重大な被害を受けると共に信濃川が氾濫危険水位を超えたため、広範囲となる避難指示が発令され、472人が町民体育館に避難をしました。

このたびの水害はハード面の損害のみならず、内水排除により過去最高の水位を記録した信濃川に注目し、内水対策の重要性、避難対策などの新しい対策の必要性を痛感しました。

議会では、平成23年8月4日の臨時議会において、災害調査のために「7・29水害調査特別委員会」を設置し本年2月までに計7回の調査審議を行いました。

総括の結果、以下の問題点を提起し、国・県・町をはじめ

め関係機関に速やかに実行するよう要望することいたしました。

調査で被害の大きい地域は山林地形で沢水が集中して河川に流れ出る特徴がある。しかし、下流域の排水対策が早

急に改修困難であるとの認識のもと、現地調査で遊水地の確保が可能な土地があり、一つの方策として、設置のための調査をすること。（調査特別委員会は見附市の刈谷田川遊水地の現地調査をしてきました。）町を横断しているJRや、R403号線横断部で地域によつて恒常的に被害が発生しているため、協議機関を設置

すること。土砂災害の危険箇所が多くあり調査点検 砂防ダムの重要性を認識し、新規再利用も含め点検をすること。今回の避難指示については委員から避難情報の周知など多数の問題提起がなされました。総合計画作成時期でしたので、今回の経験が活かされ

るよう要請しました。最後に特別委員会の調査にあたり地域住民の皆さん、町当局から協力いただいたことに感謝申し上げます。

委員長 小池 真一郎

委員 小池 真一郎



▲川船地内



▲曾根地内



▲新田堀



▲上吉田地内



▲見附市：刈谷田川田んぼダム視察

# 1月17日開催 第1回 臨時議会



▲田上中学校体育館

田上中学校体育館屋根改修等大規模改造工事を行うための臨時議会が開催されました。屋根に太陽光パネルを設置し10kWを発電する設備も導入されるほか、屋根の全面改修外壁塗装、外部建具、一部LED照明等の改修も行われる予算が可決されました。

## 全員協議会

期日 平成24年1月17日

昨年12月に開催された全員協議会での中学校体育館改修工事及び新規事業となる少子化対策について、検討事項となっていた項目等が説明され議論が交わされました。

中学校体育館改修工事では、外壁塗装、動力・受電設備、発電量モニター、太陽光パネル等の工事内容を変更したいこと、財源は国庫補助金(1/3)残りを起債と一般財源で措置する内容であり、国庫補助の目途もついたことから早急に補正予算を編成したいとの説明がありました。

質疑の中では、太陽光発電設備の設置によって、教育効果や再生エネルギーの町での取り組みの第一歩としていきたいとの考えが示されました。少子化対策では、空き家情

報バンク、新婚世帯家賃支援事業の申請方法等の変更点について説明がなされました。

質疑の中では、空き家情報バンクでは広く情報を収集し町ホームページ等に掲載し町内外に広くPRして、人口減の対策にして行きたいとの考えが示されました。



▲田上町ホームページ(空き家情報バンク・新婚世帯家賃支援事業)

期日 平成24年2月6日

12月定例会で継続審査となっていた暴力団排除条例について、新潟県警察及び加茂警察署より、県における基本的な考え方の説明がなされ、文言の解釈や町の対応等の疑問点について議論され、一定の理解が得られました。なお平成23年12月末現在、全国では約4割の市町村が条例を制定しているとの説明がありました。

第5次田上町総合計画(基本構想・基本計画)については、11月の全員協議会での議会からの提案や指摘事項について、変更、追加された項目について説明があり、総合計画審議会からは、2月1日付で妥当であるとの答申をいただき、「みんなでつくる暮らしの満足度のたかいまち」の実現に向け、8項目にわたる配慮事項が付記されたとの結果が報告されました。





松原 良彦 議員

**町長** 高齢者、要援護者の避難の、ノウハウの事について質問でございますが、本当に手伝いに行つて良いものか、その辺ぐらいまでをしつかりと、地域内で把握、相談をし、いざという時に行動に移

**問** 自主防災組織の地区組織作りが、遅々として進まない一つの理由として、要援護者の救護の難しい事が、最大のネックになっていると思われませんか。例えば、突発的に災害が起きた時に、救助に行つた人が二人揃わないとか土足のままで入つて良いのか服装はどうするのか、貴重品はと考えるとプライベート面迄かわつてきます。この大事な避難対策の具体的見解をお示し下さい。

### 高齢者要援護者の避難について

せるよう、再三区長さん方をお願いしています。なお、詳しい事については、出来るだけ研究、努力してまいりたいと思つています。

**問** 国、県による一級河川関係の、原ヶ崎樋門の修理及び加茂川右岸の嵩上げ問題、保明嶋地内の内水処理等、現状の調査結果と今後の対応についてお伺い致します。

### 7.29水害における復旧状況について

**町長** 原ヶ崎樋門については管理者の土地改良区より修理完了の報告がありました。又、信濃川水系の一連の工事は、新潟県により復旧されると聞いております。

堤防の嵩上げについては、24年度に施工に入り、保明嶋については加茂、田上町で逆



川口 與志郎 議員

### 原発事故収束宣言の問題点について

**問** 原発事故「収束」宣言の問題点について伺います。野田首相は冷温停止状態と言っていますが、冷温停止とは言つておらず、この意味は大きく違つています。

冷温停止とは、密閉された原子炉が通常の冷却装置で冷やされ安定して止まっている状態をいいます。

しかし事故を起こした原子炉は、燃料棒がメルトダウンして、原子炉を貫通し、格納容器にまで落下しています。その燃料が分厚いコンクリートを侵蝕して最大65センチに達しています。もう少しで突き破られます。落下したら、冷却が不可能になり、大惨事が発生します。

また4号機は、無残に壁は吹き飛び、鉄骨がむき出しになり、傾いています。ここに使用済み核燃料が多数保管されています。4号機が倒壊したら、やはり大惨事になります。そればかりでなく、多くの人たちが避難生活を余儀なくされ、まだ元の状態に戻つておりません。子どもを放射能から守るといふことでも極めて不十分です。子どもたちは20ミリシーベルトという値でも、学校に通うことが許可されています。

この数字は年間の空間線量ですが、この文科省の「安全基準」は原発の作業員が白血病を発症した場合に労災認定を受けられるレベルです。今後ゆっくりとした時間の経過のなかで、いろいろな癌の発症が心配されます。とても事故収束とはいえません。今、全国の54基の原発が定期点検などのため、停止しています。今、各地で脱原発、原発再稼働をしないようにと

いう大きな運動が起つています。

ご承知のように、新潟県は東京電力柏崎・刈羽原発の立地県です。県内でも柏崎・刈羽原発再稼働反対の運動が大きくなつておき始めています。このことについて伺います。

また、田上町での学校給食町民の食の安心・安全についての対策について伺います。

**町長** 川口議員の言わんとしていることはよく理解できるものであります。今回の質問は、町政に対する一般質問の範囲外であり、なじまないと思つております。コメントは差し控させていただきます。

**教育長** 新潟県の県内産・県外産の検査の監視は強化されており、当町としても旬のものを使用し、地産・地消を心がけるなどして、安心・安全を担保する必要があります。

流防止弁を応急修理して、その後ゲートの抜本的工事に入る予定であります。

### 除雪関係と今後の対応について

**問** 今年はまだにみる大雪になり、町内全域で苦労話が聞かれました。道路の一斉除雪も、21回を数え生活に影響が多々出ました。田上町第5次総合計画策定のアンケートの中においても除雪の満足度は非常に悪い結果が出ています。この対策として、お金が掛かるけれども、雪を噴き上げるロータリー除雪車の導入の時期に来たのではないのでしょうか。町長の見解をお聞かします。

**町長** 当町においてのロータリー除雪車導入についての提案についてであります。道路形態が家屋の密集地域では雪を吹き飛ばす場所の確保が必要なことや、スピードが出せない事など、そういったことで作業の効率が非常に劣ると思われまふ。又当町の財政的にも非常に負担が大きいということ、当面除雪ドーザーによる排雪作業で対処していきたいと考えています。

### 特養増床について

**問** 特養増床の経過はどのようになっていますか。

**町長** 社会福祉法人ごまどう福祉会では平成27年度から増床を検討したい意向を表明しています。

町としても第6期介護保険事業計画に反映させます。



▲水害復旧工事現場





池井 豊 議員

町長 協働の町づくりの理念に基づいて町づくりを推進してきております。7つのプロジェクトがもう既に立ち上がっておりまして、町内の団体・地域からも参加をいただいております。さらに、地区の自主防災組織も私は重要な町づくりの柱であると思っています。



関根 一義 議員

問 滞納税の徴収率向上施策竹の友幼稚園長の身分及び職務内容、テレビコマーションを通じた町のPR施策、治水対策としての小河川上流域遊水池調査、地域農業ビジョンの策定などについて町長の所見を伺います。

### 施政方針に関して

町長 24年度から新たに動産の差し押さえ、インターネット公売の研究・実施の体制を考えています。  
テレビCMの実施主体を観光協会とし、事業費の480万円は、町と観光協会がそれぞれ1/2負担とします。  
遊水池調査は、下流域に及ぼす影響を減じる調整機能の有無も含め調査・検討します。平成24年度の戸別所得補償制度から、人・農地プラン及び

### 施政方針を受けて

問 協働のまちづくりについて伺います。

町長 施政方針の冒頭、町民参加による協働の町づくりと述べております。協働の町づくりのイメージとはどのようなものなのか。また具体的な施策はどのように考えているのかを質問したいと思います。

町長 地域農業マスタープランを作成することが盛り込まれました。町も検討会で協議します。

### 原子力安全協定と放射能監視体制について

問 南西の風下50キロ圏に位置する田上町として、事業者との安全協定締結を求めるべきです。また放射線の影響を予測するモニタリングポストの設置の見解を伺います。

問 自主防災組織について伺います。

町長 施政方針の中で述べている避難訓練というのは、どのような訓練でしょうか。また、自主防災組織の結成に向け積極的な支援と述べていますが積極的な支援とはどのような支援でしょうか伺います。

町長 地区住民の安否確認を行うための避難訓練を実施していただきたいと考えております。また、自主防災組織の結成に向けての支援でありませんが、未結成の地区に向い、必要性や町内での取り組みの説明を行い、共助の精神を意識づけてもらえるよう最大限努力してまいります。

問 東日本大震災の瓦れき受け入れについて伺います。

町長 東日本大震災支援の一つに瓦れきの受け入れということも考えられると思います。町長の見解をお示しください。

町長 安全協定については、市町村による原子力対策に関する研究会で議論することになっていきます。

### 新潟州構想に関して

問 「新潟州構想」は、基礎自治体の再編につながるのか、県行政をどのように変えるのか、周辺自治体への影響は、行政サービスの格差は、などの説明が必要です。対応をどのように考えていますか。

町長 県町村会には何ら情報がありません。現時点では「暫くは見守る」と意思決定しています。

### 原発から50km圏内の対応を

町長 心情的にはもう受け入れたいと思っておりますが、現在の焼却施設の規模では受け入れられるのは無理ではないかと考えています。最終的には加茂市・田上町消防衛生組合で判断されることとなります。

問 原発から50キロ圏内の対応について伺います。

町長 柏崎刈羽原発から50キロ圏内の田上町はPPAという気体状の粒子または物質を含んだ空気の一団に冒される危険のあるエリアで、自宅内の屋内退避、必要に応じて安定ヨウ素剤の服用を考慮する必要があります。どのような行動をとっていいのか、そのガイドラインの策定はどのように考えているのかを質問いたします。

### 国家公務員給与臨時特例法及び人事院勧告の実施に関する対応について

問 町職員の給与決定は、国家公務員給与決定及び人事院勧告の勧告を尊重し実施されてきました。どのように対応されますか。

町長 国に準じた臨時削減及び人事院勧告も県に倣い実施しない考えです。



町長 現在、新潟県において議論しているところであるため、具体的には決定していません。しばらくは新潟県の動向を見ながら検討していきたいと考えております。その後、町の地域防災計画の中で原子力災害対策編の作成に着手して、検討してまいります。



▲福島原発の20km圏内の調査にて



樺 一春 議員

## R403バイパス 開通に向けた 都市計画と ビジョンを明確に

**問** 12月に引き続き、R403号線バイパスの開通に向けての周辺開発についての質問です。

施策方針演説で定住人口の増加や活力あるまちづくりを進めると言われています。又、第5次総合計画の審議会答申の配慮事項3項目に「町内にある広大な遊休地の生産消費行動を促す拠点施設とするなど再活用の方策を講じてほしい」と書かれています。又、現在R403号線バイパスの周辺が開発されないのは農

振地域になっている事が最大の障害と考えますが、周辺開発と定住人口の増加に対するビジョンをお聞かせください。

**町長** 本田上工業団地は農村

地域工業等導入促進法によって取得し整備する物で、土地開発公社の土地であります。造成後、町が使用する場合は、予算を計上し買い取る必要があります。用途変更も可能でありますが、4主務大臣の許可が必要となる他、問題もありハードルの相当高い物です。次に農振地域の関係ですが、優良農地を守る大前提があります。R403号線バイパス東側の土地は施設誘致など今後考えられていくと思っております。町のビジョンをしっかりと、都市計画を固めて掲げたいと思っております。農振地域は、町が設定した物ですから、民間からの要望が強く町も支援するスタイルで、県の振興局農地部に了解を取るスタイルが望ましいと思っております。

ます。

## 障がい者の グループホーム 入所施設の必要性

**問** 第5次総合計画の中に、現状の問題点として、夜間・土日の受入施設がない事、障がい者が働きたくとも働く場がないという事を問題点と捉えています。その課題として、入所施設やグループホームなど施設整備が必要。それから障がい者雇用の推進が必要と書かれています。

その施策事業として、グループホームの設置に関する研究と書かれています。自立生活をできる人は有効ですが、昼夜生活支援提供で

きる入居施設についても同時に研究が必要と思えますが入所施設の必要性についてどのように考えるかお聞かせください。

**町長** 施設の必要性は大いに感じますが、その整備は、

国・県等で検討していただきたいと思います。町単独では難しい、管理をする方がしっかり定まっていないと難しい財政的にも町単独では難しいので、研究をしながら進めたいと思っております。



田上町に必要な物は...。  
宅地・集合店舗・道の駅

# 一般質問



今井 幸代 議員

## 学校給食に おける 米飯回数 の拡大を

**問** 学校給食法において、給

食は、児童の心身の健全な発達に資するもの、食に関する正しい理解と適切な判断力を養うことを目的としています。また、目標としては日常生活における食生活について正しい理解や望ましい食習慣を身につけること、我が国や各地域のすぐれた伝統的な食文化について理解を深めることなどが定められております。町長が施政方針で述べていた食育を通じた健康づくり、地産地消の推進、給食法の観点からも、現在米飯回数は3回ですが、米飯回数の拡大が必要ではないかと考えております。栄養士の方によりますと、当町の給食費は小学校で1食当たり250円、単価ではパンが約40円に対し、米飯は20円程度

米飯は、パンや麺に比べ幅広いメニューに対応させることができ、子供たちが過剰に摂取しがちな脂質糖質を抑えた献立を組みやすく、また主食費を抑えられる分、副菜により多くの食材、また質の高い食材を使うことができるということです。これらを踏まえ、当町における給食が果たす役割とその目標、理想的な米飯回数はどのようになるかと考えておられるか、見解をお聞かせください。

**教育長** 学校給食における本

年度の重点目標は5点ございします。1点目は、栄養管理と給食内容の充実、2点目は食育の推進、3点目が地場産野菜の積極的な導入、4点目が安全衛生管理の徹底、5番目が調理員の学校訪問としております。これらの目標は、田上町食育推進計画と連動しております。また、米飯給食の回数は、来年度学校給食会議といたしまして、農水省はじ

## 幼稚園も 自園炊飯で 地産地消の 推進を

**問** 3歳以上の園児は、持参した御飯を給食時に食べております。冬期間は保温器に入

め関係部局の協力依頼も加味しながら、隔週4回の米飯給食を実施することが妥当であるとの結論に至りました。将来的には、段階的に県平均である週4回程度を視野に入りたいと考えております。

と覚えることは、将来子供達だけでなく、農業を基幹産業とする当町にとっても、間違いなく大きな財産になると思いますがいかがでしょうか。

**教育長** 理想としては、本

は温かい御飯を食べさせてやるといのが一番よろしいかと思えます。今現在、調理室はぎりぎりの作業空間しかなく、設備増設あるいは作業増すということ、非常に難しい状況にあります。施設の状態では非常に難しいということをご理解いただければありがたい、そんなふうにお聞かせしております。







皆川 忠志 議員

町長 24年度予算の策定にあたっては、障がい者施設の指定管理者制度への移行、竹の幼稚園の臨時保育士の見直しなど、既存の業務等の見直しを行いました。数值的には、町づくり財政計画に基づいて進めています。抜本的に考え方を変えないと財政が豊かにならないと考えております。また、「集中と選択」は



有川 りえ子 議員

町長 田上町内の小河川において、将来同じような工事をしないで済むように発展的な工事が対処された箇所がありませんか。

### 中小河川改修について

町長 中小河川での災害復旧はあくまでも原状復旧が原則ですが、下水道雨水対策事業において補助金をいただき中店地区の横山川の抜本改修をしております。



▲中店地区横山川

### 将来のための行財政改革が必要

町長 これからの各種施策を遂行していく上で、行財政改革は必要不可欠です。24年度予算の中では、どのような見直しをしたのか伺います。今後、計画的に目標値を設定し「集中と選択」をすることが必要です。また、改革の1つとして、少子化対策としての教員住宅の活用を伺います。

### 町のTVコマースとは

町長 町の平成24年度施政方針の中に、町の観光を町内外にPRするために、テレビコマースを放送するとありますが、詳細を教えてください。

町長 テレビコマースは田上町をもっと多くの人に知っていただくためのもので土曜日正午の「いい旅・夢気分」という番組の中でCMが放送される予定となっております。放送内容はこちらが提供をする写真等の静止画です。事業費については、全体で480万円となります。観光協会と湯田上温泉協同組合がそれぞれ1/2の240万円を負担することとなっております。

### 「土砂災害防止法」について

町長 そのとおりであり、今後この考え方で進めていきます。

町長 「土砂災害防止法」に基づく警戒区域の調査等の状況を伺います。また、指定された区域に対する対策を伺います。更に、移転勧告等の場合は、県の支援の他に町独自の支援は考えていますか。また、特に危険な箇所には、役場との間にホットラインを構築する必要があると考えます。

### 放射線について

町長 放射線測定器を貸し出しできるようにすべきと考えますが、いかがでしょうか。

町長 測定器の数が1台のみで価格が非常に高い機械ですので、今のところ貸し出しは考えておりません。

町長 給食において、食品の検査については田上町で独自の対応ができないか、教育長にお尋ねします。

教育長 来月から実施されます食品に含まれる放射性物質の新たな基準値が適用されることから、給食のさらなる安全、安心を担保する必要があり、田上町としても独自に検査できないか関係者と協議をしております。

### 道路に特色のある愛称を

町長 町には、国道・県道・町道が約700路線があります。そこで、主な路線に地域に合った「温泉通り」、「護摩堂通り」など町民の知恵も借りつつ愛称を付けることを提案します。

町長 道路名は、道路の起終点、行政区の状況等を参考に決定しております。愛称、通称を付けることは、他の観光

### 節約対策としてのPPSの活用を

町長 私の出身地でもある世田谷区では、24年度から庁舎ほかの電気をPPSに切りかえることによる推測される電気料の削減額は約4千400万円という事です。電気料金の節約として、PPSという特定規模電気事業者、単価の安い電力会社に契約を切りかえることを田上町でも今から検討していくべきと考えますがいかがでしょうか。

町長 今後、東北電力管内においても電気料を値上げするとも予想されますが、全国や県内の動きを見ながら、研究や検討を考えていきます。

### 救命救急センターと加茂病院の存続について

町長 地でも数多く見受けられ、観光面からも必要であると考えられており今後考えていくこととします。

町長 救命救急センターは、なかなか先が見えない状況です。県知事の「加茂病院の廃止や縮小は考えていない」とのコメントについて、認識を伺います。また、医師不足の問題はどのように考えていますか。

町長 加茂病院存続については、加茂・田上地域の度重なる要望もあり、また、加茂市長と知事との間で約束したとのことであり、間違いないものと思っております。また、医師の確保は、環境を整えれば可能と期待しております。



# 常任委員会付託案件審査

## 総務産経常任委員会

平成23年度一般会計補正予算（第8号）は、1月23日付で専決処分されたもので、大雪による除雪・排雪・各施設の雪下ろし等に緊急に要した経費などを補正したものです。質疑では、除雪状況の詳細として道路除雪21回2千583万4千円、排雪11回2千466万6千円を要したとの答弁がありました。

田上町児童遊園に関する二条例は、実態にそぐわない為に廃止しましたが、児童遊園は地区公園として今までどおりに運営されます。

第5次田上町総合計画を定めることについては、内容についてはこれまで全員協議会で議論してきました。今後の運用については概要版が全戸配布され、事業の実施については毎年評価され次年度事業

計画に反映されていきます。



▲成増地区うめまつり

平成23年度一般会計補正予算（第9号）は、年度末に來ての各事業の確定による額の整理や請負差額による整理がありました。議会費では6月1日に議員共済が廃止されたもの。民生費では子ども手当て事業の改正に伴うもの。衛生費では加茂市・田上町消防衛生組合の負担金の整理するものなどです。合併浄化槽補助事業や耐震診断・改修の補

助は申請が少なく減額するものです。

質疑では、湯つ多里館の利用者減についてありました。ボイラー工事等で営業日が減少した要因もあるものの、今後食堂の充実や大広間の改修などにより利用者増を図っていくとの答弁がありました。交流のまちづくり事業について板橋区成増地区との交流の効果については、子ども達の交流が中心だったが、農産物の売込みやPRにもなっているとの答弁がありました。経営難に陥った法人施設については、歳入に影響は無いとのことでも明らかになりました。

いずれも原案は承認、可決されました。

### 継続審査となっていた案件

田上町暴力団排除条例の制定については2月6日の全員協議会で県警・加茂警察からの説明を聞き理解を深めた

後、2月23日に委員会を開き審査しました。条例制定に反対する立場には無いものの「町の責任」を明確にする修正動議が提出され採決されましたが、原案を可決致しました。

委員長 池井 豊



▲総務産経常任委員会

**社会文教常任委員会**

一般会計補正予算(第8号)

は、大雪の影響から民生費でのふれあいの家、やすらぎの家、幼稚園等の除雪経費、教育費では、小中学校での除雪経費と、一部消雪パイプの修理費等を1月23日付で専決処分したものであります。

入湯税条例の一部改正は、教育上の行事、クラブ活動等での宿泊における生徒、役員等の入湯税の課税免除を行う改正で、新潟県内で、全国高校総体が開催される予定となっている関係からの改正でありました。

保育所条例の一部改正は、「事務長」を置く改正で、現在は園長が事実上事務長の職務を行っており改正するものです。

質疑では、職員、パート、嘱託員等の数について、議論が交わされ、現在全体では74人が在職しており、保育士は3交代勤務であるとの答弁が

ありました。

公民館条例の一部改正は、公民館運営審議会を廃止するもので、法律で設置義務がなくなったことによるものです。現在は社会教育委員が兼務している実態にあるとの説明がありました。

総合保健福祉センター設置条例の一部改正は、「在宅知的障害者等デイサービスセンター」が「障がい者支援センター」に改正されたことに伴うものです。

特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正は、公民館運営審議会を廃止することに伴うもの及び法律の改正により、体育指導委員をスポーツ推進員に改正するものです。

佐藤杯駅伝基金の廃止については、今まで基金を使って大会を実施してきており、大会そのものは今後も継続するが、基金が無くなることから条例を廃止するものです。

障がい者支援センター及びデイサービスセンターの指定管理者の指定については、町社会福祉協議会にそれぞれの施設について、管理運営を4月から行わせるものです。

質疑では募集の結果、応募は1団体のみであったとの答弁がありました。

一般会計補正予算(第9号)の総務費、民生費、衛生費及び国民健康保険、後期高齢者医療、訪問看護事業、介護保険の各特別会計は、主には、年度末における決算見込みに基づく各事業費の増減整理でありました。

質疑の中で一般会計の民生費では、子ども手当の改正による減額が大きいこと、保育所の広域入所の園児数は全体で23人であり、その内加茂市へは20人であるとの答弁がありました。衛生費の合併処理浄化槽設置整備補助では、例年より少なく17基分の補助であったとの説明がありました。

いずれも原案は承認、可決されました。

委員長 熊倉 正治



▲議場見学(羽生田小学校6年生)



▲障がい者支援センター開所式

# 所管事務調査報告

社会文教常任委員会

期日 平成24年2月1日

介護保険制度の目的、しくみ、サービス利用のしかた、保険料、町の介護保険の現状について調査を行いました。

平成12年度から始まった制度であり、3年ごとに保険料が見直されており平成24年度には第5期の見直しが行われることになっています。

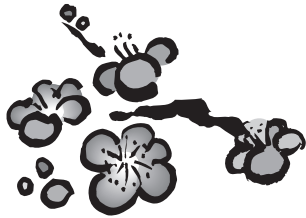
介護給付費の財源は、公費負担50%、保険料50%になっており、公費負担分50%の内訳は、国25%、県と町で12.5%ずつとなっています。

町の現状では、介護認定者数は18年度では465人であったが23年度（6月末）で574人となっており、確実に増加傾向をたどっているとの説明でありました。

保険料は、第1段階から第6段階まであり、基準額である第4段階では、23年度は年額4万7千600円となっています。この保険料は現在運営協議会で議論されており、基準額は5万円を超えるのではないかと説明がありました。

ケアマネージャーの各施設における人数や業務の内容介護認定審査会での認定の方法等の質疑がありました。が、いづれにしても、「在宅」か「施設」かの介護の方向性が今求められている現状にあると思われる。

委員長 熊倉 正治



## 要介護認定者の状況

		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年6月末
認定者	人数	465	480	533	546	564	574
	増減		15	53	13	18	10
要介護度別	要支援1	27	30	45	48	58	63
	要支援2	55	71	80	66	54	49
	経過的要介護	0	0	0	0	0	0
	要介護1	68	66	76	89	94	92
	要介護2	87	81	96	113	107	112
	要介護3	92	83	92	92	102	99
	要介護4	78	88	78	69	71	79
	要介護5	58	61	66	69	78	80
年齢別	40～64歳	16	18	17	14	16	18
	65～74歳	49	43	46	41	41	46
	75歳以上	400	419	470	491	507	510

※数値は各年度末現在

22年度に購入契約した高規格救急車が田上町、加茂市にそれぞれ1台ずつ今年2月に納入されました。決算につきましては原案通り認定しました。

組合議員 関根 一義

渡邊 正策

皆川 忠志

今井 幸代

(単位:円)

歳入	963,176,195
歳出	953,459,779
差引残高	9,716,416

期日 平成23年12月22日  
場所 加茂市役所

12月定例会

加茂市田上町消防衛生組合

一部事務組合等報告



三条地域水道用水供給企業団

第1回定例会

期日 平成24年2月27日  
 場所 三条地域企業団事務所  
 平成24年度予算を可決しました。

(単位:円)

団体名	年間給水量 (m <sup>3</sup> )	年間給水料金
三条市	7,774,500	904,893,000
加茂市	2,190,000	153,698,000
田上町	839,500	55,906,000
合計	10,804,000	1,114,497,000

組合議員 池井 豊  
 川口 與志郎  
 有川 りえ子

三条・燕・西蒲・南蒲広域  
 養護老人ホーム施設組合

第1回定例会

期日 平成24年2月15日  
 場所 三条市役所

監査委員の選任では新潟市の小野清一郎氏を全員一致で承認しました。平成24年度の予算は、歳入歳出同額の2億3千621万5千円を原案通り可決しました。

又、給食調理業務委託4千924万2千円を債務負担行為とする事と、A棟の給湯配管改修工事887万5千円の専決処分を承認しました。

組合議員 椿 一春



中越福祉事務組合

第1回定例会

期日 平成24年2月9日  
 場所 まごころ学園

平成24年度歳入歳出予算の総額はそれぞれ3億6千25万4千円です。田上町の経費分担は54万8千円です。いずれも原案可決しました。

組合議員 松原 良彦



新潟県後期高齢者医療広域連合

2月定例会

期日 平成24年2月25日  
 場所 新潟県自治会館

後期高齢者医療に関する条例の一部改正では、平成24・25年度の保険料率は22・23年度と同様に据え置くこと、賦課限度額が50万円から55万円に引き上げる改正が行われました。

平成23年度一般会計、医療特別会計では、決算見込みに基づく経費の増減補正が行われました。

一般会計(歳入歳出12億5千60万円)、医療特別会計(歳入歳出2千507億4千360万円)の平成24年新年度予算が審議され、それぞれ可決しました。

広域連合議員 熊倉 正治

# 希望と期待がふくらむ春

3月は成人式、中学校、両小学校の卒業式、竹の友幼稚園の卒園式が行われました。  
 また4月には入学式、始業式、入園式が行われ、子供たちの初々しい姿に、これからの成長が楽しみです。今後とも『田上の子供たちは田上で育てる』の理念のもと田上の宝を、町一丸となって育てていきましょう。



▲成人式



▲中学校卒業式



▲田上小入学式



▲羽生田小入学式



▲竹の友幼稚園入園式



## お知らせ

議会を傍聴してみませんか。次の定例会は**6月18日(月)**からの予定です。  
 請願は**6月11日(月)**までに提出されたものを6月定例会で審議します。

## 編集後記

今年の冬は久し振りの豪雪となり、毎日除雪に励む冬となりました。それでも、ようやく春らしくなってきました。

さて、3月定例会は、平成24年度一般会計予算をはじめ各特別会計予算、町税条例の一部改正を含め「予算審査特別委員会」に付託された予算関係12議案を審査する予算議会でした。その中でも、平成24年度予算は、緊縮予算となっておりませんが、第5次総合計画の初年度で、これを反映した予算でもあり、田上町の将来の在るべき姿を見据えて活発な議論が交わられました。これら予算の執行を監視することも議会の大切な仕事です。これからも議員全員努力していきたいと思えます。

(皆川 記)

- 委員長 川口與志郎
- 副委員長 今井 幸代
- 委員 松原 良彦
- 委員 川崎 照夫
- 委員 皆川 忠志
- 委員 熊倉 正治
- 委員 浅野 一志
- 委員 有川りえ子
- 委員 椿 一春